

対カンボジア無償資金協力 地方州都における配水管改修及び拡張計画 起工式開催

7月19日（木）、我が国の無償資金協力による「地方州都における配水管改修及び拡張計画」の起工式が、ポーサット州で開催されました。右式典には、日本大使館から黒木雅文大使が出席して祝辞を述べ、スイ・サエム鉱工業エネルギー大臣及び本事業が実施される3州（ポーサット州、バットアンバン州及びプレア・シハヌーク州）の副知事を始めとする関係者が参列しました。このプロジェクトは、2011年3月に27.6億円を限度額とした供与が決定され、今般、起工式を開催する運びとなりました。

式典で黒木大使は、「この事業により、対象の3州において、安全な水の恩恵を受けられる人の数が増加し、水質に由来する疫病の発生を抑えることができる。本事業の工事が完成予定日にむけて円滑に実施され、対象地域の住民の生活環境向上に資することを期待する。日本国の国民と政府からの支援である本事業が、カンボジアと日本の更なる友好関係に資することを望む」と述べました。

続いて、スイ・サエム大臣は、「この事業は、ポーサット、バットアンバン、シハヌークビルの水道の水質・水圧の改善、漏水の低減や配水接続数の増加など同州の上水道の改善につながり、ひいては対象地域の住民の生活改善につながる。」と述べ、「カンボジア政府を代表し、日本からカンボジアへの日頃からの支援に対して深く感謝の意を示したい。」と締めくくりました。

次に、黒木大使とスイ・サエム大臣が、本事業の記念碑の除幕を行い、また、配水管埋設工事のデモンストレーションに参加し、式典は終了しました。



スピーチする黒木大使



スピーチするスイ・サエム鉱工業エネルギー大臣



本事業の記念碑の除幕